



News Release

2026年1月5日

肥後銀行 2026年 頭取年頭あいさつ

当行頭取（笠原 慶久）が、2026年の年頭にあたり、下記のとおり全行員に向けメッセージを送りました。

なお、本メッセージは動画配信をしており、下記リンクよりご覧いただけます。

記

[内容]

- はじめに
- 昨年の振り返り（創立100周年事業）
- 今年を『チームKFG』の一年に
- 結び

[動画]

メッセージ動画はこちらからご覧いただけます。



(外部サイトへリンクします。)

《本件に関するお問い合わせ》
九州フィナンシャルグループ 広報・IR部
担当：宮本
電話 096-326-5607

うるおいある未来のために。

肥後銀行

株式会社肥後銀行
2026年 頭取年頭あいさつ
(2026年1月5日)

●はじめに

皆さん、明けましておめでとうございます。新年を皆さんと共に迎えることができ、とても嬉しく思います。年頭挨拶は九州フィナンシャルグループ社長としても、行っていますが、ここでは肥後銀行グループとして話をします。

●昨年の振り返り（創立100周年事業）

昨年から続く、肥後銀行100周年事業については「100年分のありがとう うるおいある未来のために。」をスローガンに掲げ、「行員皆で考え、皆で作っていこう、そして、熊本に拘っていこう」という皆さんのが想いを起点としたボトムアップ型によるプロジェクトとして、まさに企業理念を体現したすばらしい取り組みであったと思います。

熊本大学図書館へのネーミングライツから始まり、これまで計23の施策を実施してきました。特に「お客さま感謝の集い」においては、各ブロックの皆さんに、多大な協力をいただき、この場を借りて、改めて感謝いたします。

さて、新たな年を迎えるあたり、2026年を「どういう年にしたいか」について、2点申し上げたいと思います。

●今年を『チームKFG』の一年に

まず一つ目、今年を『チームKFGの年』にしたいということです。皆さんにはKFGという、より大きい視野で事業を捉え、力を合わせて全員で成功を目指してほしいと思います。これは「チームプレーの精神」や「利他の精神」を育むことにはかなりません。これを皆で実践すれば、困難に直面した際も、あなたは一人ではなく、チームが支えてくれるということになります。昨年10月に発表したKFG共通の基本行動である「取組み姿勢」と「具体的行動」を基盤として、グループへの意識を高め、互いを尊重し協力すること。そして地域やお客様のためにグループ全体の力を結集し、最善を尽くすという「凡事徹底」を改めて実践していきましょう。日々の当たり前のことを見識的に積み重ねることが、未来につながる大きな力となります。

二つ目、今年は、「自ら起つ年」「行動を起こす年」にしたいと思います。

私は今年の一文字を「起」（キ、おこす）としました。

この字は、「走る」という部首である そうによう と、「己」という胎児を象徴する部首から、人が「たちあがる、おきる」という意味を表します。

また、この字は「己が走る」とも読みます。現在、世の中はパラダイムシフトの真っただ中にあり

ます。「自ら考え、失敗を恐れずに行動する」というKFGバリュー第二項の「主体性」を実践するため、今年は皆さん一人ひとりが「自ら起つ年」「行動を起こす年」にして欲しいのであります。

今こそ、私たち一人ひとりが主体的に動き、力を合わせ、「意志のある未来」を切り開いていきましょう。

●結び

結びとして、今年は中期経営計画「躍進」の最終年度となります。これまで積み重ねてきた努力を結果につなげる、重要な1年となります。

干支である馬は、目標に向かって力強く駆け抜け、迷わず道を進み、広い視野で未来を切り開く象徴とされます。私たちも、自ら立てた目標の達成に向けて自ら走る年にしましょう。また、馬が群れで助け合いながら行動するように、力を結集し、チームKFGとして結束を高めていきましょう。

二つのポイントを繰り返します。一つ目は今年を「チームKFGの年」としようということ。二つ目は今年の字を「起」とし、今年を「自ら起つ年」「行動を起こす年」にしようということです。以上、年頭の挨拶とさせていただきます。

以上